

2020年度社会情報教育研究センター研究活動等報告

■ 政府統計部会 部会別研究活動等

1. 研究論文・著書

著書名：『日本の公的統計・統計調査』第2版

発行機関：立教大学社会情報教育研究センター

発行年月：2020年11月

著者氏名：櫻本 健・濱本 真一・西林 勝吾

共著区分：共著

掲載誌名：『社会と統計』第6号, 25-44

タイトル：「マイクロデータ分析と公的統計データベースに関する展開－2019年度出張報告を兼ねて」

発行機関：立教大学社会情報教育研究センター

発行年月：2020年3月

著者氏名：櫻本 健・西林 勝吾・濱本 真一

掲載種別：論文

共著区分：共著

櫻本 健 准教授

1. 学会発表

日時：2020年6月6日

学会名等：経済統計学会東北・関東支部6月例会

場所：オンライン

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「COVID-19によって変化が求められる日本の統計機構」

日時：2020年6月29日

学会名等：OECD 4th Meeting of the Informal Advisory Group on measuring GDP in the Digital Economy, Item 3.b.

場所：オンライン

発表者：上野 有子・櫻本 健

発表テーマ：”Preliminary report on the estimation results of digital Supply and Use

Tables in Japan”

日時：2020年7月10日

学会名等：内閣府経済社会総合研究所生産・支出・分配の三面の整合性に関する調査研究
第1回研究検討会

場所：オンライン

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「2008SNAが求める三面のバランスの考え方」

日時：2020年9月17日

学会名等：ESCoE Conference on Economic Measurement 2020(EM2020), Covid-19
Session B: Measuring the Impact of COVID on the Economy

場所：オンライン

発表者：櫻本健・萩野 覚・山野 紀彦

発表テーマ：”The COVID-19 impacts on statistics survey and estimation procedures in
Japan”

日時：2020年11月8日

学会名等：経済統計学会全国研究大会オンラインセッション国民経済計算・国際収支の諸
問題

場所：オンライン

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「2025SNA導入に向けた産出額補正の検討」

日時：2020年12月5日

学会名等：経済統計学会東北・関東支部12月例会

場所：オンライン

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「経済統計分野でオンラインでできるフリーの教育ツールの紹介－V-RESAS,
jSTATMAP, GoogleによるCOVID-19感染陽性者予測」

日時：2021年2月18日

学会名等：学会ではなく、G20諸国と各国統計作成機関によるワークショップで、議長国
イタリア主催による特別会合、セッション名：“MEASURING THE DIGITAL

ECONOMY - DRAFT AGENDA FOR A VIRTUAL DETF WORKSHOP”

場所：オンライン

発表者：櫻本 健・石橋 英宣

発表テーマ：入稿段階で仮タイトルにて調整中 ” Experiences in Measuring GDP in a Digital Economy”

2. 研究論文・著書

著書名：『経済系のための情報活用2 Office2019対応』

発行機関：立教大学社会情報教育研究センター

発行年月：2020年11月

著者氏名：櫻本 健・藤野 裕・一ノ瀬 大輔・安藤 道人・田浦 元・倉田 知秋

共著区分：共著

3. 依頼研修

日時：2020年8月19日, 20日

研修名：「国民経済計算・県民経済計算」

主催：総務省統計研究研修所

場所：統計研究研修所教室 2F

講師：櫻本 健

対象：中央省庁職員, 地方公共団体職員

日時：2020年10月22日, 26日, 11月2日, 19日

研修名：「国民経済計算（サテライト勘定を含む。）」

主催：総務省統計研究研修所

場所：統計研究研修所教室 2F

講師：櫻本 健

対象：中央省庁職員, 地方公共団体職員

日時：2020年11月4日, 11月5日

研修名：「GDPを学ぶ」

主催：内閣府経済社会総合研究所経済研修所

場所：オンライン

講師：櫻本 健

対象：内閣府職員, 中央省庁職員

日時：2020年11月18日,11月19日
研修名：「国民経済計算(SNA)ステップアップ」
主催：内閣府経済社会総合研究所経済研修所
場所：オンライン
講師：櫻本 健
対象：内閣府職員,中央省庁職員

安藤 道人 准教授

1. 研究論文・著書

掲載誌名：『精神神経学雑誌』,122: 261-281
タイトル：「生活保護による精神科長期入院：1956年『在院精神障害者実態調査』原票の分析」
発行期間：公益社団法人日本精神神経学会
発行年月：2020年2月
著者氏名：後藤 基行・安藤 道人
掲載種別：論文
共著区分：共著

掲載誌名：『季刊 個人金融』2020年春号, 89-99
タイトル：「家族介護、介護保険、女性労働」
発行期間：一般財団法人ゆうちょ財団
発行年月：2020年5月
著者氏名：安藤 道人
掲載種別：論文
共著区分：単著

掲載誌名：『立教経済学研究』Vol.74, No.1 pp. 59-91
タイトル：「財政調整制度導入以前の地方財政：1883~1917年の道府県・市・町村財政の検証」（古市将人、宮崎雅人との共著）
発行期間：公益社団法人日本精神神経学会
発行年月：2020年7月
著者氏名：安藤 道人・古市 将人・宮崎 雅人
掲載種別：論文
共著区分：共著

掲載誌名：『社会保障研究』, vol. 5, no. 2, pp. 237-249

タイトル：「認可保育所入所と就労・抑うつ・家事育児分担：入所・保留世帯に対するアンケート調査結果」,

発行機関：国立社会保障・人口問題研究所

発行年月：2020年9月

著者氏名（共著者含）：安藤道人・前田正子

掲載種別：投稿（動向・資料）

共著区分：共著

掲載誌名：National Tax Journal, 73(3), 901-926

タイトル：Fiscal Responses to the COVID-19 Crisis in Japan: The First Six Months

発行機関：National Tax Association

発行年月：2020年9月

著者氏名（共著者含）：Michihito Ando, Chishio Furukawa, Daigo Nakata, and Kazuhiko Sumiya

掲載種別：論文

共著区分：共著

濱本真一 助教

1. 研究論文・著書

掲載誌名：『理論と方法』67

タイトル：「合理的選択による進学格差の変動モデル：進学率と階層間格差のマイクロ・マクロリンク」

発行機関：数理社会学会

発行年月：2020年3月

著者氏名：濱本 真一

掲載種別：論文（学術誌）

共著区分：単著

掲載誌名：『社会学評論』71(3)

タイトル：「戦後教育達成の性差の長期変動——画工段階・階層によるトレンドの違いに着目して」

発行機関：日本社会学会

発行年月：2020年12月（印刷中）

著者氏名：濱本 真一
掲載種別：論文（学術誌）
共著区分：単著

2. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費
研究種目：若手研究
研究課題番号：18K13096
採択テーマ：「統計・数理モデルによる教育達成格差メカニズムの総合的解明」
研究期間：2018年4月～2021年3月
資金名称：日本学術振興会
研究代表者名：濱本 真一

西林 勝吾 助教

1. 研究論文・著書

著書名：『図説 東京の論点 小池都政を徹底検証する』

発行機関：旬報社

発行年月：2020年5月

著者氏名（著者）：山本 由美・寺西 俊一・安達 智則・久保木 匡介・永山 利和・丸山 真央・尾崎 正峰・氏家 祥夫・石橋 映二・児美川 孝一郎・児玉 洋介・西林 勝吾・藤井 康平・羽島 有紀・林 公則・佐藤 克春・中澤 誠・市川 隆夫・岡田 昭人・阿部 俊彦・森山 治・鈴木 力雄・伊藤 剛・中島 明子・村田 悠輔・小野 浩・原田 仁希・青龍 美和子・西畠 和徳
掲載種別：著書（書籍）

共著区分：共著

2. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費
研究種目：若手研究
研究課題番号：00758237
採択テーマ：「A.V.クネーゼを中心とした環境経済学説史研究」
研究期間：2019年4月～2023年3月
資金名称：日本学術振興会
研究代表者名：西林 勝吾

■ 社会調査部会 部会別研究活動等

1. 国際会議出席

日時：2020年8月2日～6日

会議名等：JSM (Joint Statistical Meeting) Annual Conference 2020

場所：オンライン参加

出席者：五十嵐 彰・高橋 かおり

参加目的：国際会議出席ならびに海外の調査技術や統計手法、アーカイブのデータ活用に関する動向調査

岩間 暁子 教授

1. 研究論文・著書

掲載誌名：『作業療法ジャーナル』54巻4号: 356-362

タイトル：「家族の多様化にどう対応するか（1）－『家族のオルタナティブ』の必要性」

発行機関：三輪書店

発行年月：2020年4月

著者氏名：岩間 暁子

掲載種別：論文

共著区分：単著

掲載誌名：『作業療法ジャーナル』54巻5号: 462-468

タイトル：「家族の多様化にどう対応するか（2）－『マイノリティ』の社会的包摂の必要性」

発行機関：三輪書店

発行年月：2020年5月

著者氏名：岩間 暁子

掲載種別：論文

共著区分：単著

掲載誌名：日本学術会議 提言

タイトル：「提言：外国人の子どもの教育を受ける権利と修学の保障——公立高校の「入口」から「出口」まで」

発行機関：日本学術会議

発行年月：2020年8月

著者氏名：日本学術会議地域研究委員会多文化共生分科会

掲載種別：政策提言 (<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-t289-4.pdf>)

共著区分：共著

高木 恒一 教授

1. 研究論文・著書

掲載誌名：『家とまちなみ』81 (39巻1号)

タイトル：「大都市住宅地をめぐる3つの視点」発行機関：(一社)住宅生産振興財団

発行年月：2020年6月

著者氏名：高木 恒一

掲載種別：論文 (機関紀要)

共著区分：単著

2. 依頼講演

日時：2020年10月24日

講演名：国立市公民館〈地域資料講座〉記録を残し、記憶を伝える—市民の活動の足跡を未来へつなぐ—第1回「市民活動資料を未来へつなぐ」

場所：国立市公民館

講師：高木 恒一

演題：「市民が記録をつくる、残す、共有する」

対象：国立市民

中澤 渉 教授

1. 学会発表

日時：2020年7月

学会名等：World Education Research Association Focal Meeting 2020

場所：(コロナウィルス感染拡大のため学会中止)

発表者：Wataru Nakazawa

発表テーマ：「Gender-Differentiated Parental Strategies on Advancement to University: Using the Latent Class Model on Data in Japan」

2. 研究論文・著書

掲載誌名：『学ぶ・教える』(シリーズ人間科学4)

発行機関：大阪大学出版会

発行年月：2020年3月

著者氏名：中澤 渉・野村 晴夫

共著区分：共編著

3. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：基盤研究 A

研究課題番号：19H00608

採択テーマ：「学校卒業後の若年層の就業・家族形成に関する追跡調査」

研究期間：2019 年 4 月～2024 年 3 月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：中澤 渉

五十嵐 彰 助教

1. 学会発表

日時：2020 年 4 月 25 日

学会名等：Population Association of America Annual Meeting 2020

場所：(コロナウィルス感染拡大のため学会中止)

発表者：Akira Igarashi

発表テーマ：「Threats and Norms: Multicultural Policies and Natives' Attitudes Toward Immigrants in European Countries」

日時：2020 年 4 月 25 日

学会名等：Population Association of America Annual Meeting 2020

場所：(コロナウィルス感染拡大のため学会中止)

発表者：Akira Igarashi

発表テーマ：「Why Do People Develop Ethnic Hierarchy? Perceptions of American and Chinese Immigrants in Japan」

日時：2020 年 8 月 12 日

学会名等：The 115th American Sociological Association Annual Meeting

場所：オンライン開催

発表者：Akira Igarashi

発表テーマ：「Multiculturalism and Muslim Immigrants' Attitudes Towards Homosexuality」

日時：2020年9月13日

学会名等：The 116th American Political Science Association Annual Meeting

場所：オンライン開催

発表者：Akira Igarashi

発表テーマ：「Religion or Criminalisation? Multicultural policies and (non-) Muslim immigrants' attitudes towards homosexuality」

日時：2020年9月22日

学会名等：第69回数理社会学会大会

場所：オンライン開催

発表者：五十嵐 彰・永吉 希久子

発表テーマ：「反差別規範の普及に関するリスト実験」

日時：2020年10月31日

学会名等：第93回日本社会学会大会

場所：オンライン開催

発表者：五十嵐 彰

発表テーマ：「日本における外国人の居住地域選択: 1899-1938年データの分析」

2. 研究論文・著書

掲載誌名：『RIETI Discussion Paper Series』

タイトル：「The Effects of Negative and Positive Information on Attitudes toward Immigration」

発行機関：経済産業研究所 (RIETI)

発行年月：2020年3月

著者氏名：Akira Igarashi, Yoshikuni Ono

掲載種別：論文 (ワーキングペーパー)

共著区分：共著

掲載誌名：『「くらしと仕事に関する外国籍市民調査」報告書』

タイトル：「移民の日本に対する帰属意識」

発行年月：2020年6月

著者氏名：五十嵐 彰

掲載種別：論文 (報告書)

共著区分：単著

掲載誌名：『Ethnic and Racial Studies』

タイトル：「Hate begets hate: Anti-refugee violence increases anti-refugee attitudes in Germany」

発行年月：2020 年 8 月

著者氏名：Akira Igarashi

掲載種別：論文（査読付きジャーナル）

共著区分：単著

高橋 かおり 助教

1. 学会発表

日時：2020 年 7 月 15 日

学会等名：Sunbelt 2020 XL (Virtual)

場所：オンライン開催

発表者：Kaori Takahashi, Shinichi Aizawa

発表タイトル：“The network of Berlin-based Japanese visual artists: Their use of languages to form connections to formal institutions”

日時 2020 年 8 月 22 日 14:00～17:00

学会等名：関東社会学会 2019 年度第 2 回研究例会 「ワークショップ時代の統治と社会記述」 ※2020 年 3 月開催予定だった会の延期開催

場所：オンライン開催

登壇者：高橋 かおり

発表テーマ「芸術を通じた場の構築——地域に対する現代美術とクラシック音楽の試みを」

日時：2020 年 12 月 6 日 13:00～15:00

学会等名：文化政策学会 企画フォーラム月間

場所：オンライン開催

発表者：高橋 律子・浅井 南・高橋 かおり（企画・司会）

企画タイトル：「アーティストの生活をどのように調査するのか？——研究と実践の協働に向けて」

日時：2021 年 3 月 9-12 日（実施予定）

学会等名：The ESA-Arts 2021 online conference

場所：オンライン開催

発表者：Kaori Takahashi

発表タイトル：“Updating cultural migrants: from research on Berlin-based Japanese visual artists.”

2. 研究論文・著書

著書名：『音楽で生きる方法—高校生からの音大受験、留学、仕事と将来』

発行機関：青弓社

発行年月：2020年11月

著者氏名（共著者含）：相澤 真一・高橋 かおり・坂本 光太・輪湖 里奈

掲載種別：著書（書籍）

共著区分：共著

著書名：『「趣味で生きる」の文化論』

タイトル：「それでも舞台に立てる理由—まじめに遊ぶための人間関係と規則」（pp76-85）

発行機関：ナカニシヤ出版

発行年月：2021年3月（予定）

著者氏名（共著者含）：宮入 恭平（編者）・杉山 昂平（編者）・神野 由紀・桜井 政成・歌川 光一・早稲田 みな子・藺田 碩哉・二宮 浩彰・飯田 豊・瀬尾 祐一・板津 木綿子・遠藤 英樹・青野 桃子・野村 駿・高橋 かおり・上岡 磨奈・山中 雅大・須藤 廣・三浦 倫正・劉 潤・下山田 翔

掲載種別：著書（書籍）

共著区分：共著

3. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：若手研究

研究課題番号：20K12897

採択テーマ：「芸術に関わる人々にとっての労働・余暇・仕事—ジェンダーと移動からの社会的探求」

研究期間：2020年4月～2023年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：高橋 かおり

採択補助金名：科学研究費

研究種目：挑戦的研究（萌芽）

研究課題番号：19K21731

採択テーマ：「グローバル化時代における進学・就職・転職ネットワークの社会的解明」

研究期間：2019年6月～2022年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：相澤 真一（上智大学）

■ 統計教育部会 部会別研究活動等

山口 和範 教授

1. 学会発表

日時：2020年9月3日

学会名等：私立大学情報教育協会 2020年度教育イノベーション大会

場所：アルカディア市ヶ谷

発表者：山口 和範

発表テーマ：「エビデンスとしてのデータ活用力育成を目指す授業方法の紹介」

2. 依頼講演

日時：2021年2月26日 午前10時00分～午後15時00分

講演名：令和2年度地方統計職員業務研修

主催：佐賀県庁統計分析課

場所：アバンセ（佐賀市）

講師：山口 和範

講演テーマ：「統計的予測方法の基礎と応用」

対象：佐賀県公務員

田中 聡 助教

1. 学会発表

日時：2020年9月12日～13日

学会名等：日本教育工学会 2020年秋季全国大会

場所：北海道大学（オンライン開催）

発表者：田中 聡・大原 万里奈・佐藤 智文・鏝家 理玖・竹野 桃加・久米 佑哉・加藤 走・木村 充

発表テーマ：大学における経験学習型リーダーシップ教育を通じた学び

日時：2020年12月12日

学会名等：日本教育工学会研究会

場所：オンライン開催

発表者：大原 万里奈・佐藤 智文・鎧家 理玖・竹野 桃加・久米 佑哉・加藤 走・木村 充・
田中 聡

発表テーマ：大学における経験学習型リーダーシップ教育を通じた学びの成果とその後の
仕事への以降プロセス

山口 誠一 助教

1. 依頼研修

日時：2020年10月29日, 11月5日, 12日 18時10分～19時40分

講演名：統計検定2級試験対策講座（第1回, 第2回, 第3回）

主催：東洋大学理工学部

場所：オンライン（Google Meet）

講師：山口 誠一

講演テーマ：「記述統計（第1回）」, 「確率変数（第2回）」, 「推測統計（推定）（第3回）」

対象：東洋大学のLMSのコース「2020年度統計検定2級（理工学部）」に登録した東洋大
大学理工学部の学生

門田 実 助教

1. セミナー開催

日時：2020年12月18日

講演タイトル：機械学習入門セミナー

主催：立教大学社会情報教育センター

場所：オンライン（zoom）

講師：門田 実

対象：立教大学学生・教員

2. 統計講座の設計

日時：2020年4月～9月

講演タイトル：8日で学ぶ統計学

主催：資格の学校 TAC

講師：門田 実

対象：社会人

加藤 倫子 特定課題研究員

1. 学会発表

日時：2020年11月1日

学会名等：第93回日本社会学会大会

場所：オンライン開催

発表者：加藤 倫子・平井 秀幸

発表タイトル：刑務所調査における困難性をどう受け止めるか——「女子依存症回復支援モデル事業」のフィールドワークに向けて①

日時：2020年11月1日

学会名等：第93回日本社会学会大会

場所：オンライン開催

発表者：平井 秀幸・加藤 倫子

発表タイトル：「後発型」調査はどうあるべきか——「女子依存症回復支援モデル事業」のフィールドワークに向けて②

2. 研究論文・著書

著書名：『犯罪・非行からの離脱を考える』

タイトル：「離脱（デジスタンス）に向かう過程で保護観察が果たす役割——保護司の処遇実践に着目して——」（仮）

発行機関：ちとせプレス

発行年月：2021年2月（刊行予定）

著者氏名（共著者含）：岡邊 健（編者）・藤間 公太・岡村 逸郎・仲野 由佳理・加藤 倫子・相良 翔・都島 梨紗・志田 未来・伊藤 秀樹・平井 秀幸・山口 毅

掲載種別：著書（書籍）

共著区分：共著

3. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：若手研究

研究課題番号：19K13951

(56) 社会情報教育研究センター研究紀要『社会と統計』第7号

採択テーマ：「構造的排除への支援・介入が『犯罪や非行からの離脱』に与える影響」

研究期間：2019年4月～2022年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：加藤 倫子